

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 524 号	氏名	藤原 紳祐
学位審査委員	主査 江口 晋 副査 下川 功 副査 中尾 一彦		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、最近増加している消化器癌肝転移に対する in vivo 抗癌剤感受性試験を可能とするモデル作製のために行なわれ、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 共同研究施設で開発されたトランスジェニックマウスを用い、ヒト正常肝細胞、ヒト胃癌細胞を移植し、生着率、生着細胞の機能を評価したもので、研究方法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 トランスジェニックマウス内でヒト肝細胞は約 66%、ヒト胃癌細胞は約 12% 生着を認めた。このヒト肝細胞キメラマウス内で免疫染色および血清中のヒトアルブミン、ヒト AFP の測定を用いており、解析方法は妥当である。今後の抗がん剤のテーラー化のために大きな貢献をしようと考えられる。</p>			
<p>以上のように本論文は消化器癌肝転移研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			